

# 令和3年度 事業報告書

社会福祉法人柚子の会

## 令和3年度事業報告 社会福祉法人柚子の会

### ○令和3年度 事業計画

令和3年度の事業は、母親を預けるとしたら柚子の会を実現することに全力を挙げる。具体的には、来訪された方に対し必ず明るく挨拶をする、どのような身体状況のご利用者でも受け入れる、ご利用者が安全で楽しく過ごしていただける環境を作るなど、法人の方針を実施することに全力を挙げて取り組む。

#### 1 介護の質の向上

- (1) 介護職員の上位資格（介護福祉士や介護支援専門員など）取得や受験の奨励。
- (2) ご利用者個々の心身状況や意向を踏まえ、介護（声掛け、機能訓練、行事など）を行う。
- (3) 実践的な介護技術の向上のための（介護部長、エリア課長、各事業所が率先し、感染症対策に配慮した上で、少人数やオンラインを活用した）勉強会を行う。

#### 2 施設の修理改修によるご利用者の生活の質向上、職員の働きやすい環境作り

- (1) デイサービスセンターリブ丸山の洗面所の増設、喫茶コーナーの整備。
- (2) グループホームリブ花見川の談話室の改修、床設備の整備。
- (3) 実習生の宿舍整備。

#### 3 介護職員の採用

- (1) 高校、専門学校、大学の新卒者確保、進路指導担当部署や教員と連絡・情報交換を行う。
- (2) 学生や就職希望者に対し、事業所就職説明会や実習受け入れを行う。
- (3) 学校、関係機関への広報誌の配布などを行い、人材の確保、退職者への再就職につなげる。

#### 4 災害に対する施設の強靱化

- (1) 防災訓練の実施。災害時に備え建物の設備（窓ガラスなど）の強靱化、点検を行う。
- (2) 災害発生時に備え必要品や食料などの備蓄、備品の点検・使用訓練を行う。
- (3) 地域の方に対し、災害時の避難受け入れ、災害後に浴室など施設機能を開放する。

#### 5 種々の感染症対策強化

- (1) 手洗い、消毒、換気など感染症対策を励行する。
- (2) 感染症予防対策について具体的に実践訓練を行う。
- (3) 感染症が発生した場合には行政に連絡し指示を仰ぐ。

### ○実施内容・結果（総括）

1. 新型コロナウイルス感染症の感染者増加に伴い感染予防のため、法人全体の職員勉強会は中止、高齢協など外部機関で開催される外部研修への参加も控えました。しかし、事業所内では毎月、感染症対策、身体拘束の廃止など研修・勉強会を実施したり、マナー・接遇、感染症対策についてのオンライン研修に参加したりするなど、4回以上の研修、勉強会を実施しました。

また、介護支援専門員試験は6名、介護福祉士試験は4名（リブタウン館山、ショート

ステイリブテラス丸山、リブチャペル丸山、リブケア千倉)が受験。介護支援専門員は2名が合格、介護福祉士は2名合格致しました。

特養では少人数でのドライブ、焼き芋や節分などの季節行事、デイなどでも事業所内でかき氷などの季節に合わせた内容、少人数での短時間ドライブなど、行事やレクリエーションを実施しました。ヘルパーやケアマネジャーは、ご利用者、ご家族と電話、手紙による連絡、訪問を通じて、状況の把握、相談対応、支援に努めました。

## 2. 施設の修理改修

令和3年度、デイサービスセンターリブ丸山の事務室を改修、ご利用者の見守りや業務を行いやすい環境整備を行いました。洗面所の増設、喫茶コーナーの整備については延期いたしました。

グループホームリブ花見川は、B棟談話室及び台所の改修整備を実施しました。実習生の宿舍整備は令和4年度に延期いたしました。

## 3. 介護職員の確保

大学、高校、ハローワークが新型コロナウイルス感染症予防として、施設職員の訪問受入れを行いませんでした。学校に対しリブ通信の郵送、大学教授など個別に関係者へ連絡をとりましたが、職員採用に結びつけることが出来ませんでした。

職員からの紹介で3名新しく職員採用につながりました。

## 4. 災害に対する施設の強靱化。

防災訓練の実施、災害時に備え建物設備や備品の点検、取り扱い訓練を定期的に行いました。

台風の影響による停電が発生した際に、発電機やランタンの使用、行政への状況報告や情報収集を円滑に行うことが出来ました。

## 5. 種々の感染症対策強化

長島理事長から、随時、感染症対策、注意事項を発信し、非常勤勤務者も含め全職員に周知を行いました。またご利用者、職員の円滑なワクチン接種、手洗い、消毒、検温、送迎や訪問時にご利用者に対し消毒やマスク着用の依頼など具体的に実施する事項を徹底しました。さらに、マスクやフェイスシールドなど感染予防具を職員が使用するだけでなく、ご利用者やご家族にも使用について説明を実施しご協力頂きました。地域における感染状況の情報収集、職員の感染者が発生した事業所については保健所、行政への連絡など対応を行いました。

新型コロナウイルス感染症対策は徹底して行った結果、全ての事業所ご利用者の感染者は0でした。また職員は2名感染者が発生しましたが、ご利用者への感染は防止することが出来ました。行政、ケアマネジャー、ご利用者、ご家族などへの連絡を円滑に行い、その後の事業所の運営には支障を来すことはありませんでした

## 7. 新型コロナウイルス感染症が蔓延したことにより特別養護老人ホームリブ丸山に入

7. 新型コロナウイルス感染症が蔓延したことにより特別養護老人ホームリブ丸山に入居されている方が1階の食堂を利用することが叶いませんでした。令和4年度食堂利用を出来るだけ早期に実現します。

## 1 施設概要

- (1) 施設の種類 介護老人福祉施設 (指定番号) 1278300072  
(介護予防) 短期入所生活介護 (指定番号) 1278300049
- (2) 所在地 千葉県南房総市302-5
- (3) 管理者 川名 真啓 (実践指導者 庄司順子)
- (4) 定員 介護老人福祉施設58名  
(介護予防) 短期生活入所生活介護12名

## 2 支援目標

- ・入居者個々の状態を明確に把握し、最良のケア提供に努める。とともに、毎日を穏やかに過ごせるよう落ち着いた環境の整備に努める。
- ・特養入居を希望される方の受け入れに積極的に取り組む。
- ・外国人技能実習生の受入れにより、実習指導を通じて介護方法や指導方法の振り返りなどを行い、介護職員の人員不足解消を図る。

## 3 支援方法

- ・管理者、実践指導者が主となり、巡視、介護技術の指導を行う。食堂利用を出来るだけ早期に実現する。
- ・ショートステイ床の利用状況を踏まえ、ショートステイ床を特別養護老人ホーム床へ転換することについて南房総市と協議を行う。
- ・職員一人一人の介護力向上の為、職員同士の声掛け、より良い介護方法の指導を行う。また内部、外部問わず必要な研修へ各職員、参加する。

## 4 支援の内容・結果 (総括)

- ・日頃よりご利用者の安全確保を最優先に努め、夜間の転倒事故や緊急の対応等事故防止への対策の見直しを継続して会議等で検討を行った。
- ・技能実習生の実習指導を通じて、介護方法や指導方法の振り返りが行え、日々の業務に行かせた。技能実習生は転籍となったが、新入職員の指導に活かすことが出来た。
- ・職員一人一人の介護力向上の為、内部研修を積極的に行った。

5 各種会議

職員 研修	4月	事故対策研修（喀痰吸引、心肺蘇生） 施設内勉強会	各種 会議	感染対策会議 入浴会議 *毎月エリア会議
	5月	高齢者虐待・身体拘束廃止研修		事故対策会議
	6月	褥瘡予防研修 施設内勉強会		身体拘束廃止会議 給食会議
	7月	事故対策研修（喀痰吸引、心肺蘇生） 施設内勉強会		感染症対策会議 排泄介助
	8月	施設内勉強会		事故対策会議
	9月	施設内勉強会・感染対策研修		身体拘束廃止会議
	10月	事故対策研修（喀痰吸引、心肺蘇生） 施設内勉強会		感染症対策会議 褥瘡防止会議
	11月	施設内勉強会・医務研修		事故対策会議
	12月	施設内勉強会・感染対策研修		身体拘束廃止会議
	1月	高齢者虐待・身体拘束廃止研修 施設内勉強会		感染症対策会議 入浴会議
	2月	施設内勉強会・褥瘡予防研修		事故対策会議
	3月	施設内勉強会・感染対策研修		身体拘束廃止会議

6 年間行事/ 防災訓練実施結果

	行事	防災訓練
4月	花見（ドライブ）	
5月	カラオケ	夜間自衛消防・避難誘導訓練
6月	あじさい見学（ドライブ）	
7月	七夕会	
8月	茶話会	
9月	運動会	自衛消防・避難誘導訓練
10月	秋桜見学（ドライブ）	
11月	焼き芋	自衛消防・避難誘導訓練
12月	クリスマス会	
1月	書き初め	
2月	節分・茶話会	
3月	ひな祭り	

## 1 施設概要

- (1) 施設の種類 通所介護・通所型独自サービス (指定番号)1278300031
- (2) 所在地 千葉県南房総市川谷302-5(特養に併設)
- (3) 管理者 安田 裕香
- (4) 定員 30名

## 2 支援目標

- ① ご利用者・ご家族との信頼関係を築き、安心して頂ける事業所を目指す。
- ② 自立支援の為に関わりに努め安心して在宅生活ができるように支援する。
- ③ 接遇や介護の質の向上、利用者様の過ごしやすい環境・雰囲気づくり。
- ④ コロナ禍における感染症対策の強化。

## 3 支援方法

- ① ご利用者・ご家族が抱えているニーズを把握し身近な専門職として相談しやすい環境を整える。
- ② ケアマネジメントの過程や問題点などを各職員が共有し・実践しご利用者への的確な支援を行う。
- ③ 積極的に研修等に参加しスキルアップ向上・環境整備に努める。
- ④ 日々更新する感染症情報を学び実践、ご利用者・ご家族との情報の共有。

## 4 支援の内容・結果(総括)

- ① ご利用者・ご家族とのコミュニケーションを密に取り、軽微なことでも相談して頂ける環境ができたことで、小さな変化や要望などを知ることができより良いサービスや対応ができるようになった。
- ② ご利用者の担当職員を決めることで、各職員が通所介護計画の内容を踏まえどのようなサービスの提供が望ましいか、また、改善した方が良いかなど考え話し合える回数が増えた。
- ③ 定期的な研修には多数の職員が参加できたが、コロナ禍もあり事業所外の研修にはあまり参加できなかった。
- ④ テレビやインターネットなどのメディアを活用しコロナ感染症の対応を学んだり、ご利用者・ご家族の家庭状況や体調を把握し職員同士で共有したりする事ができた。

## 5 各種会議

職員 研修	4月	職員の心得	各種 会議	事故防止検討会議
	5月	移動・体位交換		
	6月	リスクマネジメント		
	7月	認知症の理解		事故防止検討会議
	8月	食事介助		
	9月	プライバシー		
	10月	身体拘束		事故防止検討会議
	11月	リハビリ・機能訓練		
	12月	感染症		
	1月	入浴介助		事故防止検討会議
	2月	排泄介助		
	3月	緊急時対応		

## 6 年間行事/ 防災訓練実施結果

	行事計画	防災計画
4月	お花見	
5月	鯉のぼり見学	避難訓練
6月	紫陽花見学	
7月	七夕	
8月	かき氷	
9月	敬老会・運動会	避難訓練
10月	ハロウィン	
11月	紅葉見学	避難訓練
12月	クリスマス会・忘年会	
1月	※初詣を予定していたが地域での感染者数増加を踏まえ中止	
2月	節分	
3月	ひな祭り	



## 1 施設概要

- (1) 施設の種類 訪問介護・訪問型独自サービス (指定番号) 1878300023
- (2) 所在地 千葉県南房総市川谷302-5 (特養に併設)
- (3) 指定年月日 平成11年12月1日
- (4) 施設の概要 身体障害者 重度訪問介護 (指定番号) 1215100072
- (5) 指定年月日 平成18年10月1日
- (6) 施設の概要 一般乗用車旅客自動車運送事業 (患者等輸送限定)  
(関自旅二第3983)
- (7) 許可年月日 平成18年3月16日
- (8) 施設の概要 自家用自動車による有償運送 (千運輸第122)
- (9) 許可年月日 平成18年4月28日
- (10) 管理者 平柳 栄子

## 2 支援目標

- ①その人が喜びを感じ生活を送れる為に、私たちに出来るのは「何か」を考え共に行動する。
- ②感染症対策を通じて、ご利用者が利用を継続できるようにする。

## 3 支援方法

- ①相手の話を傾聴し、誰とでも笑顔で目を合わせ、挨拶を交し合う。
- ②その人が、「何が出来・何が出来ない・何を望むか」を職員同士共有し、ケアマネジャーなど他職種との連携をとり、状態変化等見られた際は、ケアカンファレンスを行い、援助計画の見直しを行う。
- ③訪問内容の統一化として手順書の作成をし、変更の都度申し送りを記し周知する。
- ④コロナなど感染等予防対策について、職員間、関係機関、ご利用者・ご家族と最新情報の共有を行い、対策の周知徹底を行う。

## 4 支援内容 (総括)

- ①職員同士でコミュニケーションを取り情報を共有することが出来た。
- ②ご利用者の状況を把握し、変化が見られた際は直ぐにケアマネジャーに連絡を取り援助内容の見直しをすることができた。
- ③訪問時の変化や気が付いた事を申し送りノートに記入し、職員間で共有した。
- ④感染症対策の為、職員間・関係機関・ご利用者・ご家族と情報共有し感染症対策の周知徹底、継続した支援を行うことができた。

#### 4 研修会議の予定

職員 研修	4月	内部勉強会：コロナ対策ガウンの装着方法	各種 会議	*スタッフ会議 毎月第3金 事故防止検討会議
	5月	内部勉強会：介護報酬改定について		
	6月	内部勉強会：感染症についての理解		
	7月	内部勉強会：食事介護と口腔ケア		事故防止検討会議
	8月	内部勉強会：ポジショニングについて		
	9月	内部勉強会：感染症及び食中毒の 発生予防と対策		*ケース会議 要認定変更時 状態の変化時等
	10月	内部勉強会：緊急時の対応の仕方		事故防止検討会議
	11月	内部勉強会：感染症についての対策 インフルエンザ・ノロウイルス		
	12月	内部勉強会：褥瘡について		
	1月	内部勉強会：ベットから車イスへの移 乗方法		事故防止検討会議
	2月	内部勉強会：今年度の反省と見直し		
	3月	利用状況の報告 *毎月施設内勉強会		*毎月エリア会議

#### 5 年間行事計画 / 防災計画

	行事計画	防災計画
4月	*スキルアップ講座への受講 (適用月)	
5月		自衛消防・避難誘導訓練
6月		
7月		
8月		
9月		自衛消防・避難誘導訓練
10月		
11月		自衛消防・避難誘導訓練
12月		
1月		
2月		
3月		

## 1 施設概要

- (1) 施設の種類 軽費老人ホーム（ケアハウス）
- (2) 所在地 千葉県南房総市川谷302-5（特養に併設）
- (3) 管理者 川名 真啓
- (4) 定員 15名

## 2 支援目標

- ①安全かつ快適な生活を提供する
- ②ご利用者自身が過ごしたい日々を送ることが出来るように、自己決定・自己選択を大切にする

## 3 支援方法

- ①介護・医療・介護保険制度等の基礎知識を習得し迅速に対応できるようにする。
- ②ご利用者の身体等の変化に対し早期発見・対応が出来るようにする。
- ③スタッフ（ケアハウス職員・ケアマネジャー・介護サービス等）間の連携を密にする。

## 4 支援の内容・結果（総括）

- ① 介護・医療・介護保険制度等の知識習得に努めたが、ご利用者の介護サービスや医療面でのフォロー等、判断に迷う事案も多くあった。職員間での検討、ご家族やケアマネジャー等と相談し密に連携・対応を心がけた支援を行った。また入所の問い合わせに対しては職員間で情報共有を行い円滑な入所受け入れに繋げた。
- ② ご利用者一人ひとりに合った対応を心がけた。コロナ禍の中ご家族にも会えず不安になる方もおられたため、ご利用者個々の心情を聞き対応する支援に努めた。
- ③ 感染対策として職員だけでなくご利用者にも対策や留意点について説明し協力を頂いた。また濃厚接触者が発生した場合の対応、アクリル板の設置など施設内での感染予防対策を行った。

5 各種会議

職員研修	4月		各種会議	身体拘束・感染症・事故防止委員会 ケアハウス会議 給食会議
	5月	館内勉強会 介護職		
	6月			給食会議
	7月	館内勉強会 身体拘束 介護報酬改定について		身体拘束・感染症・事故防止委員会 ケアハウス会議 給食会議
	8月			給食会議
	9月			
	10月			身体拘束・感染症・事故防止委員会 ケアハウス会議 給食会議
	11月	安全対策担当者養成研修 ケアハウス軽費部研修会		
	12月			給食会議
	1月			身体拘束・感染症・事故防止委員会 ケアハウス会議 給食会議
	2月			給食会議
	3月			※ 毎月エリア会議

6 年間行事/ 防災訓練実施結果

	行事	防災訓練
4月	懇談会・誕生会	
5月	端午の節句	自衛消防及び避難誘導訓練（夜間想定）
6月	特別買物代行	
7月	七夕 懇談会・誕生会	
8月	花火	
9月	敬老会	自衛消防及び避難誘導訓練
10月	懇談会・誕生会	
11月	紅葉ドライブ	自衛消防及び避難誘導訓練
12月	特別買物代行 クリスマス会	
1月	初詣 懇談会・誕生会	
2月	節分豆まき	
3月	桃の節句	

1 施設概要

- (1) 施設の種類 居宅介護支援事業所 (指定番号) 1278300015
- (2) 所在地 千葉県南房総市川谷302-5
- (3) 管理者 土屋 暢子

2 支援目標

介護保険法令の趣旨にしたがい、利用者が可能な限りその居宅において有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援していく。

ご利用者の心身の状況、置かれている環境に応じて利用者の選択に基づき適切な医療サービスや介護サービスが多様な事業所から総合的かつ効率的に提供されるよう援助していく

3 支援方法

①在宅生活継続への支援

ご利用者の有する能力に応じ自分らしく可能な限り自宅において自立した日常生活を送ることが出来るよう支援する

②関係機関との連携

市町村、病院、地域包括支援センター、介護保険施設等と必要な連携を図り情報提供・情報収集を行い適切なサービスが提供できるよう支援していく

③職員の資質向上

介護支援専門員としての専門性と資質向上を図る為、制度改正時の情報収集やその他必要な研修に参加する

④ご利用者の尊厳を守る

ご利用者の意思及び人格を尊重し利用者の立場になって居宅サービスが不当に偏ることなく公正中立に行う

4 支援の内容・結果（総括）

- ①ご本人やご家族の意向を取り入れ事業者間との情報を共有し何ができて何ができないのかを見極め可能な限り在宅での生活が送れるよう努めた。
- ②関係機関との情報を共有・連携し多職種連携を図ることができた。
- ③介護支援専門員として知識を高めるためオンライン研修の参加やインターネットを使用し常時情報収集に努め事業所内にて共有することができた。
- ④ご利用者、ご家族の意思に基づいたケアマネジメントを確保するために複数の事業所の提案を行い公正中立な立場から情報を提供しその人に合った事業所を選定することができた。

5 各種会議

職員 研修	4月		各種 会議	*毎月エリア会議
	5月			
	6月	接遇マナー研修		
	7月	柚子の会 居宅介護支援事業所内部研修 身体拘束研修 新型コロナウイルス感染予防対策研修		
	8月			
	9月	新型コロナウイルス感染症対策研修		
	10月			
	11月	指定居宅介護支援事業者集団指導 リブ体操		
	12月	安全対策と介護事故裁判研修		
	1月			
	2月			
	3月	介護保険制度改正、報酬改定		

6 年間行事/ 防災訓練実施結果

	行事	防災訓練
4月		
5月		避難訓練
6月		
7月		
8月		
9月		避難訓練
10月		
11月		避難訓練
12月		
1月		
2月		
3月		

## 1 施設概要

- (1) 施設の種類 (介護予防)短期入所生活介護 (指定番号) 127800022
- (2) 所在地 千葉県南房総市珠師ヶ谷542
- (3) 管理者 和田直子
- (4) 定員 20名

## 2 支援目標

- ①ケアマネジャー、行政等と連携し積極的にご利用者を受け入れる。ご利用者、ご家族など緊急時にいつでもご利用出来る支援体制を整え、頼れる施設としてご利用者の在宅生活の基盤を広く支援する。
- ②体調の変化等、異常を早期察知してご利用者の安全を最優先する。
- ③ご利用者の個性を大切にすると共に的確なサポートを常に心がける。
- ④職員一人一人が新しい知識の習得、相談技術の向上を図るように努める。

## 3 支援方法

- ①ご家族などの緊急性を十分に汲み取り、いつでもご利用可能な相談窓口を開設し必要な時にご利用者、ご家族の気持ちになって心身の健康保持及び家庭生活の安全確保を支援する。
- ②ご家族 ケアマネジャーへの報告と連絡調整を密に行い、明確な状況把握と情報の共有を実施し、適切なケアの安心・安全を守る。
- ③ご利用時の不安や孤独感を感じさせないよう心理的な支援を心がけ、絶えず目配り気配りを行い、自宅での習慣など継続出来る支援をし、楽しく生活が出来るように支援する。
- ④法人の研修・勉強会の参加だけでなく、リモート研修やWeb研修、認知実務者研修などへの参加を行い、ご利用者の状況に合わせた日々の介護に活かす。

## 4 支援の内容・結果（総括）

- ①新型コロナウイルス感染予防として他施設利用者は個室の利用とし、居室管理を明確にし、緊急な御要望にも対応でき、ご利用時に安心して頂けるように努めた。
- ②新型コロナウイルス感染予防の為、前日の電話連絡での外出、県外者との接触や体調確認、お迎え時の検温測定やマスク着用、手指消毒のご協力や利用状況報告書や送迎時に様子や体調変化を報告し、得た情報はケアマネジャーに報告した。
- ③「就寝前は9時頃までテレビ見ている」「入れ歯は付けて寝る」など自宅での習慣を継続支援出来ている。毎月の行事やおやつ作り、施設内飾り、カレンダー作成などご利用者と楽しんで頂けるように取り組んだ。また、毎日おやつ前に体操や歌 脳トレ等行っております。行事やレク等の様子については、2ヶ月に一度広報誌（あおっ会）を発行し紹介した。
- ④新型コロナウイルス感染症拡大により法人の研修や勉強会だけでなく他の研修も中止になり参加出来なかった。しかし、DVDやWebの研修を行った。また、ケアマネジャー試験、介護職員初任者研修、認知実務者研修に挑戦し資格取得に繋がった。

5 各種会議

職員 研 修	4月	心肺蘇生	各 種 会 議	随時事故防止検討会議
	5月	緊急時対応		
	6月	災害時対応		
	7月	脱水予防 熱中症対策		
	8月	酸素ボンベ使用法		
	9月	感染症対策		
	10月	心肺蘇生		
	11月	緊急時対応		
	12月	DVD オムツ		
	1月	認知症実務者研修		
	2月	災害時対応		
	3月	感染症対策		

6 年間行事/ 防災訓練実施結果

	行事	防災訓練
4月	お花見 昼食会 オヤツ会	
5月	母の日昼食会 オヤツ会プレゼント付き	
6月	あじさいドライブ オヤツ会	
7月	七夕 オヤツ会	
8月	花火大会 (花火大会弁当付き)	
9月	敬老会 お月見会	
10月	ハロウィン昼食会 ハロウィンオヤツ会	
11月	運動会 (昼食付)	
12月	クリスマス会オヤツ会 (プレゼント付き)	
1月	正月初詣 七草粥 おしるこ	
2月	節分恵方巻昼食会 豆まき	
3月	ひな祭り 飾り作りオヤツ会	



## 1 施設概要

- (1) 施設の種類 小規模多機能型居宅介護 (指定番号) 1298800044
- (2) 所在地 千葉県南房総市珠師ケ谷1545-1
- (3) 管理者 佐藤 由紀子
- (4) 定員 25名

## 2 支援目標

- ①エンジョイプラン作成により、一人一人のご利用者に合わせて支援を実施する。
- ②施設内での売店実施による残存機能の活用、活性化を図る。
- ③各職員のスキルアップを図り、専門的な知識の習得、サービスの質向上を図る。

## 3 支援方法

- ①ご利用者本人と相談しながら、自分の為に行う『生活プラン』とみんなの為に出来る『役割プラン』を作成し、実行する。
- ②週1回施設にて売店を開き、ご利用者に買い物をして頂く。その際、店員として職員1名、ご利用者1名配置し、勘定の計算訓練等を行って行く。
- ③各月の研修計画において、現場職員がそのテーマについて勉強をし、講師となって他の職員の前で研修会を開く。

## 4 支援の内容・結果 (総括)

- ①『生活プラン』として、着替え、髭剃り、歩行訓練等、ご自身の洗濯物畳みなど、ご利用者自身で、出来る身の回りのことを行って頂いた。その結果、清潔保つことが出来、日常生活にメリハリができた。  
また、『役割プラン』として共用のタオル、おしぼり等を畳んで頂いたり、メモ用紙作り、ごみ入れ作り等を行っていただいた。「又、仕事があったらやりたい」との声も多くあり、ご利用者の自発的な行動に繋がった。
- ②毎週水曜日に行っている売店では、ご利用者自身に店員になって頂いたり、買い物をしていただいた。ご利用者同士の会話が増えた為、ご利用者が楽しめる環境が作れていると考える。また、ご家族へのおみやげとして、購入されるご利用者もいらして、家族の一員としてのコミュニケーションを取る役割も果たしていると考えられる。
- ③会議としては開催できなかったが、その場、その場に直面した事例について、リーダー、看護師が中心となって、他職員と解決策を共有し、サービスの質向上を図った。

以上の事から、ご利用者一人一人に合わせて支援を実施することができた、特に水曜日に行っている売店に関しては、施設内だけでなく、ご利用者とそのご家族を含めた支援が出来ていると考える。

今後もしもご利用者、ご家族からの要望に沿った支援出来るように、職員間での意識の向上、技術の向上に努める。

5 各種会議

職員 研修	4月	各種 会議	
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		

6 年間行事/ 防災訓練実施結果

	行事	防災訓練
4月	花見（行事食、個別ドライブ）	
5月	鯉のぼり見学（行事食、個別見学）	
6月	あじさい見学（行事食、個別見学）	
7月	七夕（行事食）	
8月	夕涼み会（行事食）	
9月	敬老会（行事食）	
10月	収穫祭（行事食、）	
11月	紅葉見学（行事食、個別見学）	
12月	クリスマス会（行事食、プレゼント）	
1月	新年会（行事食）	
2月	節分（行事食）	
3月	ひな祭り（行事食、個別ドライブ）	

新型コロナウイルス感染症の収束が見られなかった為、会議、研修は中止しました。  
 新型コロナウイルス感染症については、昨年同様、看護師が中心となり随時情報の共有、  
 対策をしました。

## 1 施設概要

- (1) 施設の種類 地域密着型通所介護 (指定番号) 1278300080
- (2) 所在地 千葉県南房総市安馬谷 2119
- (3) 管理者 石井 彩美
- (4) 定員 10名

## 2 支援目標

- ① ご利用者・ご家族との信頼関係を築き、安心して利用できる事業所作り。
- ② 地域密着型サービスとして、地元の活動やイベント参加し、地域の交流を図る。
- ③ 研修を通し介護の質の向上と共に、安全で楽しく過ごして頂くための雰囲気づくり
- ④ デイサービスでの楽しみを見出す事が出来る事業所作り

## 3 支援方法

- ① 日頃から密な連絡・報告を行い、専門職として相談しやすい環境を整えていく。
- ② 季節を感じる行事・外出の企画、地元の活動への参加等を行い、ご利用者に肌で季節を感じ、楽しんで頂けるように提案していく。
- ③ 各職員の介護技術向上のため、研修の参加。ご利用者1人1人の情報共有を職員間で行い、安全にご利用できるように支援を行っていく。
- ④ ご利用者の残存機能を活かし、調理の補助や野菜やお花の植え替え、散歩等、個々にあった支援を取れ入れている。

## 4 支援の内容・結果（総括）

- ① スタッフ会議でご利用者の変化の状態について話し合い、安全面に考慮するなど対応取りました。  
ケアマネジャーに新規ご利用者の紹介を頂けるよう声掛けをしたり、既にご利用されている方について利用状況報告等をこまめに行いました。職員数が増減するなど十分とは言えない環境だったにも関わらず、短時間のご利用者の依頼や、利用曜日の追加等を頂き、利用人数が増えました。
- ② 新型コロナウイルス感染症が蔓延する中で、できる範囲で行事の実施や季節のドライブを増やし、ご利用者に楽しんで頂けるように企画しました。コロナ禍の為、地元の活動の参加は行いませんでした。
- ③ 研修ができない事ありましたが、短時間での研修やウェブ研修導入、施設内で研修を行い、職員のスキルアップにつながりました。
- ④ 畑や花壇の手入れは年間を通してご利用者と取り組み、栽培・収穫と成長の楽しみを感じて頂く事ができました。散歩はご利用者の楽しみだけでなく、散歩を続けることが出来ていることから下肢筋力低下の予防にも繋がったと思います。

5 各種会議

職員 研修	4月	柚子の会理念	各種 会議	定例会議
	5月	新型コロナウイルス感染症予防対策		
	6月	緊急時対応（看護師） 防災		運営推進会議 7月・2月
	7月	移乗・体位交換		※新型コロナウイルス感染症増大 にて書面にて行う。
	8月	リスクマネジメント		
	9月			
	10月			
	11月	感染症予防		
	12月			
	1月			
	2月			
	3月	個人情報・プライバシー		事故防止検討会議

6 年間行事/ 防災訓練実施結果

	行事	防災訓練
4月	お花見	
5月	お弁当会食	
6月	あじさい見学	避難訓練
7月	納涼祭	
8月	かき氷	
9月	敬老会	
10月	運動会	
11月	紅葉ドライブ	避難訓練
12月	クリスマス会・忘年会	
1月	初詣・新年会	
2月	節分・白間津ドライブ	
3月	ひな祭り・いちご狩り	

## 1 施設概要

- (1) 施設の種類 認知症対応型共同生活介護 (指定番号) 1278300098
- (2) 所在地 千葉県南房総市川谷302-8
- (3) 管理者 高橋龍平 木下裕子
- (4) 定員 18名

## 2 支援目標

- ① ご利用者一人一人に寄り添い、その人らしい生活を送れるように支援を行う。
- ② 認知症を中心にした介護についての理解を深め、残存機能を活かした自立支援を行う。
- ③ 地域密着型サービスとして地域に根ざしたサービスに取り組む。

## 3 支援方法

- ① 居室担当職員を中心に、その方の生活歴、ADL、病状の把握を行い、ケアプランにつなげる。
- ② 職員一人一人が介護の基礎知識を身に着け、講師として毎月内部研修で発表し、スキルアップにつなげる。
- ③ 地域行事への参加、施設内行事への地域住民及びご家族への参加の呼びかけを行い、交流を深めるとともに信頼関係の構築に努める。

## 4 支援の内容・結果（総括）

- ① スタッフ会議にて、居室担当職員を中心に、ご利用者の変化と現状の把握、及び情報の共有を行い、意見交換を行う事で、ケアプランにつなげていました。
- ② 毎月、スタッフ会議前に職員を講師にした内部研修を実施し、各職員のスキルアップにつなげると共に、認知症の理解を深め、ご利用者の自立支援を行えています。
- ③ コロナ禍の為、地域行事への参加や、地域住民・ご家族の来所を控えていたため、ほぼ実施できていませんでした。

## 5 各種会議

職員 研修	4月	柚子の会 理念について	各種 会議	スタッフ会議・ケース会議
	5月	認知症について		スタッフ会議・運営推進会議
	6月	虐待防止について		スタッフ会議・ケース会議
	7月	身体拘束について		スタッフ会議・運営推進会議
	8月	排泄介助について		スタッフ会議・ケース会議
	9月	トランスファーについて		スタッフ会議・運営推進会議
	10月	コロナウイルス感染症について		スタッフ会議・ケース会議
	11月	インフルエンザ感染症について		スタッフ会議・運営推進会議
	12月	心肺蘇生について		スタッフ会議・ケース会議
	1月	虐待防止について・膀胱炎について		スタッフ会議・運営推進会議
	2月	身体拘束について・肺炎について		スタッフ会議・ケース会議
	3月	認知症について		スタッフ会議・運営推進会議

## 6 年間行事/ 防災訓練実施結果

	行事	防災訓練
4月	お花見	
5月	こいのぼり見学	避難訓練
6月	アジサイ見学	
7月	納涼祭(GH内)	
8月	夕涼み会	避難訓練
9月	敬老会	
10月	秋の味覚会	
11月	紅葉見学	避難訓練
12月	クリスマス会	
1月	新年会	
2月	節分	
3月	ひな祭り	

## 1 施設概要

- (1) 施設の種類 通所介護・通所型独自サービス(指定番号) 1271000257
- (2) 所在地 千葉県館山市安布里 231-12
- (3) 管理者 新藤美枝
- (4) 定員 20名

## 2 支援目標

- ① 気配り・目配り・心配り
- ② ご利用者・ご家族・その他関係機関との連携・交流の強化
- ③ 介護力・サービスの質の向上

## 3 支援方法

- ① ご利用者の事を第一に考え、支援（仕事）をする。（気配り）  
業務中は、施設全体を見渡し、常にご利用者の状態・状況・環境を把握し、快適に過ごして頂けるようにする（目配り）  
コミュニケーションをとり、信頼関係を高め何を求めているか察知し、行動に移す（心配り）
- ② ご利用者の様子・変化などをご家族・ケアマネと情報交換をし、情報の共有を図りより良いケアを行えるようにする。
- ③ 各個人が積極的に研修に参加し介護力の向上に努める。
- ④ 利用者様のADLの向上を高める為、それに沿った目標をたて達成できるように支援する。

## 4 支援の内容・結果（総括）

- ① 職員の連携を図り、感染予防の徹底やご利用者・ご家族の体調把握に努めコロナ感染拡大防止に配慮した対応を実施する事ができた。  
人事異動に伴い職員人数が減ってしまった中、支援目標である気配り・目配り・心配りが手薄にならない様、職員間の声掛け・連携に努めた。
- ② ご利用者のADL状況の共有・意見交換を行いご家族・居宅支援事業所との関係を強化する事ができた。
- ③ ご利用者をお迎えに行く際に一度ではなかなか利用されないご利用者に対し何度もお迎えに行くなどその人にあった支援方法を行いサービスにつなげる事ができた。

## 5 各種会議

職員 研修	4月	職員心得について	各種 会議	リブタウン会議
	5月	リハビリ・機能訓練について		リブタウン会議
	6月	リスクマネジメントについて		リブタウン会議
	7月	緊急対応について		リブタウン会議
	8月	認知症対応について		リブタウン会議
	9月	感染症予防について		リブタウン会議
	10月	技術と知識の習得		リブタウン会議
	11月	緊急対応について		リブタウン会議
	12月	予防アクティビティについて		リブタウン会議
	1月	食事介助、入浴介助について		リブタウン会議
	2月	トランスファーについて		リブタウン会議
	3月	緊急対応について		リブタウン会議

## 6 年間行事/ 防災訓練実施結果

	行事	防災訓練
4月	お花見ドライブ (桜)	防災訓練
5月	お花見ドライブ (つつじ) 鯉のぼり見学	
6月	お花見ドライブ (紫陽花)	
7月	七夕祭り	
8月		
9月	敬老会	防災訓練
10月	昼食バイキング	
11月	紅葉狩り	
12月	クリスマス会 (バイキング)	
1月	初詣	
2月	節分	
3月	ひな祭り	



令和3年度事業報告／事業所名 ケアプランサービスリブあじさい館山

1 施設概要

- (1) 施設の種類 居宅介護支援 (指定番号)1271000646
- (2) 所在地 千葉県館山市安布里231-12
- (3) 指定年月日 平成19年8月1日
- (4) 管理者 田島 由希

2 支援目標

- ①ご利用者の心身の状況、置かれている環境に応じて、ご利用者の選択に基づき適切な医療サービスや介護サービスが提供されるようケアプランの作成、援助を行う。
- ②ご利用者・ご家族が不安を持たずに相談できる状況を整え訪問・支援を行う。
- ③その都度必要な情報を収集しスムーズな支援が図れる様努める。

3 支援方法

- ①ご利用者の有する能力に応じ自分らしく可能な限り自宅において自立した日常生活を送ることが出来るよう支援する。
- ②ご利用者、ご家族の方などに丁寧で分かりやすい説明・相談対応に努めるとともに、感染に配慮した訪問対応（職員の体温測定・マスク・消毒の持参など）を実施する。
- ③館山市ケアマネ協議会及びリブ丸山の居宅事業所などと情報収集・情報提供を行い、適切なサービスが提供できるように情報共有を行う。

4 支援の内容・結果（総括）

- ① ご利用者本人の意向を傾聴し各サービス及び自費サービスを組み込み住み慣れた地域で過ごせるよう支援した。
- ② 感染対策を行い訪問する事でご利用者様・ご家族様に安心して頂ける様務めた。
- ③ 館山市ケアマネ連絡協議会に参加し情報を収集及び他事業所との連携により情報共有しながら適切なサービスを提供できるように努めた。

5 各種会議

職員 研修	4月	新型コロナ感染症理解・研修	各種 会議	柚子の会会議
	5月	ちょっとした勉強会		市介護支援専門員研修
	6月	虐待防止研修		市町村研修
	7月	気になるワクチン・内部研修		
	8月	今こそ知りたい新型コロナ検査		
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
	1月	個別ケア会議		
	2月			
	3月			

6 年間行事計画 / 防災訓練結果

	行事	防災訓練
4月		防災訓練
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		防災訓練
10月		
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		

## 1 施設概要

- (1) 施設の種類 小規模多機能型居宅介護支援施設 (指定番号) 129800036
- (2) 所在地 千葉県南房総市千倉町忽戸 737-1
- (3) 管理者 伊佐 隆治
- (4) 定員 25名

## 2 支援目標

- ①出来る限り地域の中で、その人らしく暮らすために 365 日・24 時間の安心を提供し本人や家族の思いや願いをかなえる支援ができるようにする。
- ②夜間の不安やおむつ交換、安否の確認等や緊急時の支援体制の確立し、安心して過ごせるように支援していく。
- ③認知症の理解と介護施設の運営の理解をしてもらえるよう努力する。

## 3 支援方法

- ①関わりの中で、一人ひとりに寄り添い、気持ちに向き合い、時間をかけて丁寧に支え思いや願いを受け止め、ご本人の「暮らし」の中に楽しみが見出せる支援を様々な角度から提供していきます。又、家族にも寄り添い、抱えている問題や不安なことなど聞き解消していく。
- ②いつでも対応できるように相談窓口を設けて支援していきます。利用者のそれまでの日常の暮らしについてよく知り、それぞれが持っている生活のリズムや希望に沿った個別ケアを行ない支援していく。
- ③認知症や介護の相談会や勉強会を開催するなどし、理解を求める。  
施設の見学会などを実施する。

## 4 支援の内容・結果（総括）

利用者一人ひとりに合った、環境作りができた利用者もいたが、利用者の意向より、ご家族の意向が優先になってしまった部分が多く見られてしまった。その一方で、利用者に対して、臨機応変な対応ができた場面が多々見られた。

利用者を支援していく中で、様々な家庭環境があり、どのように支援していけばいいのか、苦慮することが多くなってきた現状が多々あった。また、様々な職種との関りが多くなってきており、どのような支援をしていったらよいかという、議論が多く見られた年であった。

その他、一人暮らしの方が、増えてきており、どのように関りを持ち、どの程度まで、支援していけばいいのか、苦慮することが多くあった為、今後、色々な知識や技術を学ばないといけないと感じた。

事業運営については、登録定員 25 名に対して、平均 21 名の登録であった。前年度と比べて大きな増減はなかった。

#### 4 研修会議の予定

職員 研修	4月		各種 会議		
	5月	介護保険改定について		事故防止検討	・職員会議
	6月				
	7月	感染症対策			
	8月	虐待防止・身体拘束防止			
	9月	接遇について		事故防止検討会議	・職員会議
	10月				
	11月	ハラスメント防止について		事故防止検討会議	・職員会議
	12月	緊急時の対応について			
	1月				
	2月	技術と知識の再習得			
	3月			事故防止検討会議	・職員会議

#### 5 年間行事計画 / 防災計画

	行事計画	防災計画
4月	(花見) ドライブ	
5月		
6月		防災訓練
7月	七夕 (ドライブ)	
8月		
9月	敬老会 (食事会)	
10月		
11月	紅葉狩り (ドライブに出かける。)	
12月	食事会	防災訓練
1月		
2月	節分	
3月		

令和3年度事業報告/事業所名 ホームヘルプサービスリブケア千倉

1 施設概要

- (1) 施設の種類 訪問介護・訪問型独自サービス (指定番号)1278200165
- (2) 所在地 千葉県南房総市千倉町平館686-1
- (3) 指定年月日 平成17年12月1日
- (4) 管理者 安田 恵子

2 支援目標

- ① 住み慣れた地域で自分らしく暮らしが出来、ご利用者やご家族のやり方を大事にし、習慣を尊重しながら信頼関係を築き自立支援につなげる。
- ② 他の専門職との連携を深める。

3 支援方法

- ① ご利用者とのコミュニケーションをとりながら、「出来ない事を補う」事を基本に意欲を引き出す様な声かけ、どうしたら出来る様になるか工夫しながら行う。
- ② ご利用者の利用状況や援助内容で気づいた事など他の専門職と共有する。

4 支援の内容・結果（総括）

- ① ご利用者の話を傾聴し、何が困っているかを探り、その上で出来る事出来ない事を見極め支援を行った。また、出来ない事でも共に行う事で、少しでも出来るようになる支援を行い、自信を持って頂く事が出来た。
- ② ご利用者の状況を把握し情報提供を行い、ケアマネジャー、訪問看護、相談員など他職種と連携をとり対応をした。

職員間では連絡ノートなどを使用し共有、周知する事ができた。

感染予防対策について、ご利用者・ご家族、関係機関と情報を共有し、お便りなどで対策の周知を徹底した。

5 研修会議の予定

職員 研 修	4月	館山市ヘルパー事業所連絡会研修	各 種 会 議	職員会議 毎月一回
	5月	千葉県ホームヘルパー協議会研修		サービス担当者会議 随時
	6月			ケアカンファレンス 随時
	7月			
	8月	館山市ヘルパー事業所連絡会研修		
	9月			
	10月	千葉県ホームヘルパー協議会研修		
	11月			
	12月			
	1月			
	2月	千葉県ホームヘルパー協議会研修		
	3月			

6 年間行事計画 / 防災計画

	行事計画	防災計画
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		

## 1 施設概要

- (1) 施設の種類 通所介護・通所型独自サービス (指定番号1272300136)
- (2) 所在地 千葉県勝浦市興津2636
- (3) 管理者 石井 純代
- (4) 定員 月～金 各24名

## 2 支援目標

- ①居宅サービス計画書に基づきケアマネジャーと連携を図りながら支援を行う。
- ②個別の可動域運動を実施し在宅での生活が維持できるよう支援する。
- ③職員一人一人の介護の質、技能の向上を図る。

## 3 支援方法

- ①通所介護計画書の課題の目標達成に近づけるよう職員間でカンファレンスを行い在宅での生活が維持できるように支援する(ADLの維持・向上)。
- ②個々の残存機能を活かした運動ややる気の出るような楽しみのある行事を行う。
- ③職員の介護の質、技能、向上の為に研修・勉強会に(コロナ感染予防に配慮しリモート等で)積極的に参加する。

## 4 支援の内容・結果(総括)

- ①コロナ禍で他事業所とは電話連絡等でカンファレンスや密に連絡を取り合い目標達成にむけての支援が出来た。
- ②新型コロナウイルス対感染対策で緊急事態宣言中や蔓延防止中は外部の体操、レク等は中止し事業所内で行える援助に切り替えた。感染対策を考慮しながら楽しんで頂けた。
- ③職員の研修等も対面での研修がコロナ禍で開催することがなくリモート等での参加が多かった。またオンライン動画研修を利用して個々の受講したい内容を選ぶことが出来たので自主的に勉強することが出来た。

## 5 各種会議

職員 研修	4月	接遇・コロナ感染対策	各種 会議	センター会議(毎月1回)
	5月	加算についての理解		ケアカンファ(随時)
	6月	認知症対応		事故防止検討会議
	7月	熱中症対策、高齢者の脱水について		
	8月	介護記録の書き方		
	9月	防災・非常時対応		事故防止検討会議
	10月	高齢者虐待防止研修		
	11月	感染症対策		
	12月	身体拘束の為の取り組み		事故防止検討会議
	1月	非常災害時の対応		
	2月	高齢者虐待防止に関する研修		
	3月	レクリエーション		事故防止検討会議

## 6 年間行事/ 防災訓練実施結果

	行事	防災訓練
4月	開所記念会・ご当地給食	非常用備品確認
5月	お茶会・ご当地給食(広島)・菖蒲湯	
6月	紫陽花おやつ・ご当地給食(盛岡)	避難訓練(火災)
7月	七夕会・和菓子バイキング	
8月	夏祭り・ご当地給食(名古屋)	
9月	敬老会・ご当地給食(山梨ほうとう)	防災備品(発電機等、始動体験)
10月	運動会・おやつ作り	避難訓練(地震・津波)
11月	いきいきシルバー展・出張釜飯	避難訓練(地震・津波)
12月	クリスマス会・ゆず湯	
1月	初詣・鏡開き・出張駄菓子	
2月	節分・バレンタイン・河津桜見学	非常用備品確認
3月	ひな祭り・ご当地給食(北海道)	

※毎月、誕生会実施、3B 体操実施



## 1 施設概要

- (1) 施設の種類 通所介護・第一号通所事業所 (1278500028)
- (2) 所在地 千葉県鴨川市天津2922-2
- (3) 管理者 松本 史佐子
- (4) 定員 20名

## 2 支援目標

- ①ここに来て良かった、また来たいと思われる様なサービスを提供する
- ②ご利用者・ご家族との信頼関係を大切にする
- ③当たり前のことを当たり前にする、一緒に働く仲間を大事にする視点を常に持つ

## 3 支援方法

- ①一人一人が話し方、態度を振り返り、対応力の向上を図る
- ②年二回の必須研修の他に、個々で目標を立てその為の研修を受けスキルアップを図る
- ③感染対策を徹底し、ご利用者が安全に利用を継続出来るようにする

## 4 支援の内容・結果（総括）

- ①ご家族と密に連絡を取り、ご家族が求めている事、困っている事を一緒に解決した。  
ご利用者の状態を身体、心境共にモニタリング強化した。
- ②職員の研修についてはオンライン研修が主体となった為参加しやすくなり、参加実績は前年度より大幅に上がった。また、感染症に関する研修を数回受けたことにより、知識を身につけ感染対策を充分に行うことが出来た。
- ③感染対策を徹底した上でレクレーションの充実を図り、なるべくコロナ禍以前と同じように行った。感染予防に伴って行うべき業務内容が増えた中で、常に緊張した状態で職務にあたった。その中で職員同士助け合い信頼関係は築くことが出来た。常勤、非常勤に関わらず職員の負担を減らし、職務を全うすることが出来た。
- ④新規利用者は鴨川市全体で減少傾向にあり、利用者の身体状況のレベルは全体的に下がる傾向が見られた。利用者総数は減少したが、要介護度が上がり一人当たりの介護報酬単価は上昇した。

## 5 各種会議

職員 研修	4月		各 種 会 議	センター会議
	5月	膀胱盧・ストマ		センター会議
	6月	ALS		センター会議
	7月			センター会議・ヒヤリハット
	8月	介護記録の書き方		センター会議
	9月	新型コロナウイルス感染症の感染対策 ノーリフトケア 防災研修 介護記録の書き方		センター会議
	10月			センター会議
	11月	床ずれセミナー		センター会議
	12月	脊髄損傷のリハビリ コロナウイルス発生時の対応について 糖尿病を患う方のケア		センター会議
	1月	ハラスメント		センター会議・事故報告
	2月	リハビリテーションケア		センター会議
	3月	ユニバーサル検定3級		センター会議

## 6 年間行事/ 防災訓練実施結果

	行事	防災訓練
4月	花見	
5月	ヤクルト	
6月	出張駄菓子屋	避難訓練
7月	スイカ割り	
8月	かき氷会	
9月	ヤクルト	
10月	七里狩り	
11月	運動会	
12月	クリスマス会	
1月	初詣	
2月	節分会	防災訓練
3月	蕎麦屋	

## 1 施設概要

- (1) 施設の種類 居宅支援事業所 (指定番号) 1272300227  
(2) 所在地 千葉県勝浦市墨名56  
(3) 管理者 畔田 友子

## 2 支援目標

- ① ご利用者の有する能力に応じ、自分らしく可能な限り自宅において自立した日常生活をできるように支援を行う。  
② 常に変化のご利用者、ご家族に早急に対応する。

## 3 支援方法

- ① ご利用者個人の特性を活かし、ご利用者やご家族などの強みを見極め伸ばしていく事ができるような言葉がけを行う。  
② 変化のあるご利用者に様々な角度、方向から支援できるように新しい知識の習得、相談、技術の向上を図る。

## 4 支援の内容・結果（総括）

- ① ご家族を含めご利用者の個性を尊重することを意識しながら支援を続けてきた結果、ご家族でそれぞれの役目を持ち協力を得られるようになった。  
② 事業所内に限らず外部の事業所とも連携を取りながら情報収集を心掛けてきた。

5 各種会議

職員 研修	4月	毎週1回事業所内研修	各種 会議	年2回勝浦市ケアマネ部会
	5月	年3回御宿町ケアマネ研修参加		
	6月	年1回勝浦市地域ケア会議		
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			

6 年間行事/ 防災訓練実施結果

	行事	防災訓練
4月		
5月		災害発生想定区域の確認
6月		
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		災害発生を想定した避難場所の確認
12月		
1月		
2月		
3月		

## 1 施設概要

- (1) 施設の種類 認知症対応型共同生活介護 (指定番号) 1270200171
- (2) 所在地 千葉県千葉市花見川区花見川3-29-201
- (3) 管理者 中村富美子 小林稔明
- (4) 定員 18名

## 2 支援目標

- ① 毎月の行事を行い、季節感を味わっていただく
- ② 入居者の日々の生活を、入居者が自分で決められるよう支援する

## 3 支援方法

- ① 飾りつけをして、行事食等を提供してレクリエーションを行う。
- ② 何をしたいのか、どこに行きたいのか、どうありたいのか、本人が決定出来るよう読み取る。

## 4 支援の内容・結果（総括）

- ① 毎月行事を行う事はできた。しかし、コロナ禍で外出が出来なかったため入居者様にとって寂しい思いをさせてしまったのではないかと感じた。次年度は近くの公園の散歩等、外の空気に触れる取り組みを実施する。
- ② 自立、自己決定をテーマに「その人を知り、生活歴や病歴を通じ過去から現在を見る」ということに主眼を置き支援を行った。しかし、本人主体ではなく、時には職員主導になる場合も見られ、職員同士の連携不足が原因と考えた。次年度は、「連携と協働」について研修を実施する。
- ③ 看取り加算を取るにあたり、看取り研修を実施した。看取りについて不安な職員もいたが、研修のお蔭で実際、看取りに立ち会った際、研修が役に立ったとの発言があり、実施して良かったと感じた。

5 各種会議

職員 研修	4月	認知症研修	各種 会議	虐待身体拘束委員会
	5月	虐待身体拘束研修		ヒヤリ事故委員会
	6月	ヒヤリハット研修		運営推進会議 感染委員会
	7月	認知症研修		虐待身体拘束委員会
	8月	虐待身体拘束研修		ヒヤリ事故委員会
	9月	災害対策研修		運営推進会議
	10月	認知症研修		虐待身体拘束研修
	11月	虐待身体拘束研修		感染委員会ヒヤリ事故委員会
	12月	感染症研修		運営推進会議
	1月	認知症研修		虐待身体拘束研修
	2月	虐待身体拘束研修		ヒヤリ事故委員会
	3月	看取り研修		運営推進会議

6 年間行事/ 防災訓練実施結果

	行事	防災訓練
4月	花見	
5月	菖蒲湯、端午の節句	
6月	屋内運動会	
7月	納涼祭	
8月	流しそうめん	
9月	敬老会	
10月	ハロウィンパーティー	施設内避難訓練
11月	紅葉散策	
12月	クリスマス会	
1月	初詣	
2月	節分	
3月	ひな祭り	施設内避難訓練

## 1 施設概要

- (1) 施設の種類 地域密着型通所介護・通所型独自サービス  
(指定番号) 1270202599
- (2) 所在地 千葉県千葉市花見川区花見川3-26-103
- (3) 管理者 田村 葉子
- (4) 定員 15名

## 2 支援目標

- ① ご利用者・ご家族との信頼関係を築けるよう、より良いサービスの徹底に努める。
- ② スタッフの接遇と介護技術向上に努める。
- ③ ご利用者のニーズに合わせたサービスを提供する。

## 3 支援方法

- ① ご利用者・ご家族の事を考えた行動をとる。
- ② 施設外での研修等の参加を促し各自の技術、知識向上に努める。
- ③ ご利用者ごとの利用目的の把握、それに基づき適切なサービスを提供する。またケアマネジャーに提供したサービスの内容について報告、情報発信を行う。

## 4 支援の内容・結果（総括）

- ① ご利用者の状態の変化を都度ご家族、関係機関へ報告（看護師から考えられる病気等伝えてもらう）し、悪化させないように努めた。又、職員内での情報交換を行い一貫したサービス提供を行った。
- ② コロナ禍で施設外研修が実施できなかった。
- ③ 機能訓練として、エアロバイク・平行棒での下肢運動を実施した。（希望者）  
利用日には毎回実施する事で、維持できたり歩行が安定している。又、希望者が増えてきた。

5 各種会議

職員 研修	4月	接遇について	各種 会議	月1回スタッフ会議
	5月			
	6月			
	7月	緊急時の対応について		
	8月			
	9月			運営推進会議
	10月	感染症について		
	11月			
	12月			
	1月	事故防止について		
	2月			
	3月			運営推進会議

6 年間行事/ 防災訓練実施結果

	行事	防災訓練
4月	お花見食事会	
5月	ゲーム大会	避難訓練
6月	ゲーム大会	
7月	ゲーム大会	
8月	夏祭り・デリバリー食事会	
9月	敬老会	
10月	運動会	
11月	芸術祭	
12月	クリスマス会	
1月	初詣	避難訓練
2月	豆まき	
3月	ひな祭り食事会	



## 1 施設概要

- (1) 施設の種類 訪問介護・訪問介護相当サービス(指定番号) 1270200940
- (2) 所在地 千葉県千葉市花見川区花見川3-29-101
- (3) 管理者 鈴木 美佐子

## 2 支援目標

- ①いきいき在宅生活を支えていけるように、利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営む事が出来るよう、入浴・排泄・食事・その他生活全般にわたる自立支援を行う事を目標とする。
- ②どの職員が訪問に入っても、サービス内容に異なりがないよう統一した支援を提供する。
- ③利用者・家族と一番顔を合わせる訪問介護員だからこそ、利用者・家族との信頼関係を大切にしていく。
- ④事業所内の体制を再度検討し、介護保険法に基づき適正かつ円滑に業務を行う。

## 3 支援方法

- ①常勤・非常勤ともに外部研修に参加する機会を作り、職員の専門性及び実践力の向上を図る。(スタッフ会議で研修報告をする場を設ける)  
また、施設内研修を行なう。(準職員、登録型の職員に対しても、研修の機会を設ける)。
- ②介護保険証の更新時期・居宅サービス計画書の変更に合わせて、利用者ごとに訪問介護計画書作成会議を行う。  
新規訪問開始後は1～2ヶ月以内での初期対応会議を行う。  
状態変化時には随時ケース会議を行う。
- ③利用者の心身の状況、その置かれている環境等の的確な把握に努め、利用者又はその家族に対し、適切な相談及び援助を行う。
- ④ケアマネジャー、他事業所からの情報を収集することで、訪問介護だけでは見えていない部分を共有する。
- ⑤現時点での問題点を確認する。  
法人内の役割分担・仕組み・書類整備等について随時確認する。  
新人教育を徹底し、利用者・家族へのサービス統一が出来る様指導していく。
- ⑥職場の雰囲気作りに努め、魅力ある職場環境を作る事で人材の確保をする。

## 4 支援の内容・結果(総括)

- ①ご利用者の心身や環境の状況把握に努め、特に状況変化時、ケアマネジャー・ご家族との連携を密にして適切な支援を行うことが出来た。これに伴い信頼を頂き新規依頼の増加に大きく繋げる実績を上げる事が出来た。
- ②必要時にスタッフ会議を開催し、緊急時や困難事例などにも柔軟に対応が出来るよう情報共有を行い、訪問介護員の更なる現場への質の向上に繋げた。

- ③ 新型コロナウイルス感染の拡大に伴い、日々感染対策の徹底に励んだ。スタッフ・スタッフ家族にコロナ感染者が発生する事があったが、日々の連携が活かされ早急な対応を取り困難を乗り越え、今後の信頼関係に繋げる事が出来た。

## 5 各種会議

職員 研修	4月	介護保険制度・感染症予防について	各 種 会 議	スタッフ会議（事故防止検討会議）
	5月			
	6月			
	7月			スタッフ会議
	8月			
	9月			
	10月	事例検討研修・高齢者虐待防止法		スタッフ会議
	11月			
	12月			
	1月			スタッフ会議
	2月			
	3月			

## 6 年間行事/ 防災訓練実施結果

	行事	防災訓練
4月		
5月		
6月		
7月		防災訓練
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		
1月		防災訓練
2月		
3月		

## 1 施設概要

- (1) 施設の種類 居宅介護支援 (指定番号) 1270200908
- (2) 所在地 千葉県千葉市花見川区花見川3-29-101
- (3) 管理者 平野 美香

## 2 支援目標

- ①令和2年9月度より【特定事業所】として事業所加算Ⅲの加算を取るようになった。  
一人ひとりのケアマネジャーが意識を高く持ち、地域に貢献する為にも社会の流れを把握し、常に法令順守・中性中立を徹底する。
- ②担当しているご利用者の支援はもちろん、地域への貢献も意識して具体的に社会資源の発掘に努める。

## 3 支援方法

- ①職員が常に学ぶ姿勢を持ち、ケアマネジメント力をつける。  
個々のケースワークも含め、地域課題についても問題解決能力を高める事ができるように学びを深める。  
事例検討会を積極的に開催し、学びを深める。
- ②法令順守・運営規定に則った業務を行なう。  
常に法律に徹した業務が行なえるように学び続ける。
- ③医療機関、各事業所、地域包括支援センター、ご利用者・ご家族に関わる機関等と連携を図る。

## 4 支援の内容・結果（総括）

- ①職員一人一人が高い意識を持って研修に参加し、自らの知識向上を目指し取り組んだ。  
常に最新の介護情報を習得、援助技術・知識の向上につながり、ご利用者・ご家族に適した支援につながった。
- ②毎週の定例会議の中で、個々の実践内容の報告、困難事例等の事例検討や支援内容の振り返りを行う場を持った。その結果、法令や運営規定、介護支援専門員倫理綱領に則った様々な支援を行うことが出来た。
- ③医療機関、各事業所、地域包括支援センター、ご利用者・ご家族に関わる機関等と連携して困難な事案への対応を行った。困難なケースに関しては当事業所で対応可能という信頼感を得て、地域包括や病院等から新規依頼を多く頂くことが出来た。
- ④特定事業所として地域包括支援センターと共に主任ケアマネジャーの研修会等に参加し、地域問題の発掘・改善に向けて話し合いを行い改善や提言に繋げることが出来た。また、近隣の特定事業所（4か所）と合同で花見川区の居宅事業所に向けて事例検討会を開催し、関係機関との連携を図ることが出来た。

5 各種会議

職員 研修	4月	2021年介護報酬改定研修	各 種 会 議	定例会議（週1回）
	5月	・科学的介護スタートセミナー ・令和3年介護報酬改定セミナー		定例会議
	6月	介護報酬実地指導対策		定例会議
	7月			定例会議
	8月			定例会議
	9月	認知症疾患医療連携主任ケアマネ研修		定例会議
	10月	2022年に向けた準備と対応		定例会議
	11月	主任ケアマネ会議・研修		定例会議
	12月			定例会議
	1月			定例会議
	2月	・虐待の発見から関係機関の連携 ・介護支援専門員としてのBCP計画		定例会議
	3月	・令和3年度介護報酬改定の明確化 ・自立支援に資する介護予防ケアマネジメント		定例会議

## 1 施設概要

- (1) 施設の種類 介護予防支援事業 (指定番号) 1208800027
- (2) 所在地 千葉県南房総市千倉町平館686-1
- (3) 管理者 山本 三千代

## 2 支援目標

地域包括支援センターリブ丸山は南房総市の外房高齢者相談センターとして、公共性・地域性・協働性の視点に立脚し、公設センターとして公正中立な立場で、業務を通じて南房総市における地域包括ケアシステムの構築、地域福祉の向上はもとより、南房総市のまちづくりに寄与することを目指す。

## 3 支援方法

- ①高齢者の方やご家族の方などに丁寧で分かりやすい説明・相談対応に努める。
- ②介護予防ケアマネジメント、総合相談支援、権利擁護、包括的継続的マネジメント支援、介護予防・日常生活支援総合事業・介護予防支援（要支援の方に対するプランの作成）、個別地域ケア会議や認知症施策推進などの業務については、法令や南房総市の指針に沿って業務を実施する。  
また個別の相談に応じて解決を図るだけでなく、個別の相談などから地域の課題を明確にし、その解決策などを関係機関に提案及び協議を行い、関係団体との会議などに出席し、具体的な解決策について話し合い、実践に繋げることで支援目標が達成できるように努める。
- ③昨年に続き、コロナ渦のなか、年間予定の遂行が難しいと想定されるが、状況を鑑み、出来る事を実施する。

## 4 支援内容(総括)

南房総市からの委託事業として、介護保険法令や市から示された「仕様書」「南房総市地域包括支援センター運営方針」に基づき目標や支援方法を掲げ、支援に取り組んだ。

支援の内容については、高齢者に関する相談支援だけではなく、同居者など同じ世帯の中に顕在する障害者福祉、生活困窮者に関する相談にも応じた。障害者などの担当機関、民生委員、ボランティア、地域住民の方々と共に、複数の課題に対し包括的な支援に取り組んだ。また、行政や社会福祉協議会 各事業所と“住み慣れたこの地域で生活をするために”を目標とした「わたしのこれから」という企画の広報活動等を行い、地域住民の介護力・福祉力を高めるコミュニティワークにも積極的に取り組んだ。さらには、市が主催する地域ケアチーム会議への助言 地域包括ケア推進会議、地域密着型施設の運営推進会議などに参加、実践を通じて得た情報の共有や施策提言を行うなど、南房総市の地域包括ケアシステム構築にも努めた。

5 各種会議

職員研修	4月		各種会議	包括職員打合せ会議（随時） 地区別民生委員定例会議 地域密着型施設運営推進会議個別 地域ケア会議
	5月	南房総市介護支援専門員研修会 地域包括支援センター会議		包括職員打合せ会議（随時） （BCP策定について） 地区別民生委員定例会議 地域密着型施設運営推進会議 （開催中止） 地域ケアチーム会議
	6月	地域包括支援センター会議		包括職員打合せ会議（随時） 地区別民生委員定例会議 地域密着型施設運営推進会議
	7月	介護保険改定に伴う計画書等の記入 の仕方 ズームにての研修		包括職員打合せ会議（随時） 地区別民生委員定例会議 地域密着型施設運営推進会議 （開催中止） 高齢者虐待防止ネットワーク会議 地域包括支援センター運営協議会 南房総市災害等支援連絡会
	8月	（開催中止） 安房地域災害対策医療講演会 南房総市健康学習会 地域包括支援センター会議		包括職員打合せ会議（随時） （開催中止） 地区別民生委員定例会議 地域密着型施設運営推進会議 認知症の人が徘徊しても安心な地 域づくり検討会 安房地域医療介護連携推進会議
	9月	介護支援専門員専門研修課程 高齢者虐待防止対策研修 南房総市介護支援専門員連絡会研修 地域包括支援センター会議		包括職員打合せ会議（随時） （開催中止） 地区別民生委員定例会議 地域密着型施設運営推進会議 安房地域医療介護連携推進会議
10月	千葉県介護支援専門員地域同行型研 修 （ズームにて）	包括職員打合せ会議（随時） 地区別民生委員定例会議 地域密着型施設運営推進会議個別		

	<p>地域包括支援センター会議 (開催中止)</p> <p>南房総認知症フォーラム 南総リハケア文化祭</p>	<p>地域ケア会議 (開催中止)</p> <p>認知症の人が徘徊しても安心な地域づくり検討会 地域ケアチーム会議 介護保険事業運営協議会</p>
11月	<p>鋸南町主催 介護サービス計画書の提示について 地域包括支援センター会議 (開催中止)</p> <p>介護予防・日常生活総合事業に係る市町村研修会</p>	<p>包括職員打合せ会議(随時) 地区別民生委員定例会議 (開催中止)</p> <p>南房総市災害等支援連絡会</p>
12月	<p>千葉県主催高齢者虐待研修地域包括支援センター会議 (ズームにて) (開催中止)</p> <p>福祉避難所講演会 千葉県社会福祉士会安房地域集会 地域包括ケア推進セミナー 南房総市健康セミナー</p>	<p>包括職員打合せ会議(随時) 地区別民生委員定例会議 地域密着型施設運営推進会議 個別地域ケア会議 (開催中止)</p> <p>安房地域医療介護連携推進会議 介護保険運営協議会</p>
1月	<p>地域包括支援センター会議</p>	<p>包括職員打合せ会議(随時) 地区別民生委員定例会議 地域密着型施設運営推進会議 地域包括支援センター・在宅介護支援センター連絡会 (開催中止)</p> <p>南房総市生活支援協議体会議</p>
2月	<p>(開催中止)</p> <p>南房総市介護支援専門員連絡会研修 安房地域災害対策医療講演会 地域包括ケア担当職員セミナー 地域包括支援センター会議</p>	<p>包括職員打合せ会議(随時) 地区別民生委員定例会議 地域密着型施設運営推進会議 個別地域ケア会議 (開催中止)</p> <p>介護保険運営協議会 難病対策地域協議会 個別事案関係者会議</p>
3月	<p>(開催中止)</p> <p>介護保険制度改正・介護報酬改正セミナー</p>	<p>包括職員打合せ会議(随時) 地区別民生委員定例会議 地域密着型施設運営推進会議</p>

	地域包括支援センター会議	南房総市社会福祉協議会ささえあいネットワーク会議 (開催中止) 見守りネットワーク事業者連絡会 南房総市地域包括ケア推進会議 地域包括支援センター運営協議会
--	--------------	--

## 6 年間行事/ 防災訓練実施結果

	行事	防災訓練
4月	地区サロン活動など訪問	
5月	認知症を考える会 地区サロン活動など訪問 (コロナ渦の為中止)	
6月	地区サロン活動など訪問 (コロナ渦の為中止)	
7月	丸山地区地域福祉フォーラム (コロナ渦の為中止)	
8月	(コロナ渦の為中止)	
9月	(コロナ渦の為中止)	
10月	認知症メモリーウォーク (コロナ渦の為中止)	
11月	虐待防止啓発活動 地区サロン活動など訪問 (コロナ渦の為中止)	
12月	地区サロン活動など訪問	
1月	地区サロン活動など訪問	
2月	地区サロン活動など訪問	
3月	地区サロン活動など訪問	